



学校だより

令和8年1月8日（木）
第867号
さいたま市立日進小学校
TEL：663-6942

学びの精神

校長 鈴木 晴雄

明けましておめでとうございます。保護者・地域の皆様、旧年中は、本校教育活動に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

2026年、今年の干支は「丙午」です。

「丙」・・・「大地から芽が出て葉が広がった状態」を意味する。「明るい」「活発」「華やか」「生命力にあふれている」などの強いエネルギーを象徴する。

「午」・・・太陽が真南に位置する正午を表す。「頂点」「成熟」「繁栄」の意味を象徴する。

「午」は動物に当てはめると「馬」。馬は古来より「力強さ」「俊敏さ」「勇気」「行動力」の象徴とされてきました。馬は人々を目的地へと導く存在として、「進展」「成功」「信頼」のシンボルともされ、目標に向かって突き進むエネルギーを表すそうです。

丙午の年は、勢いとエネルギーに満ちあふれ、学びや努力が実を結び、活動的な年 といえそうです。

私たちを取り巻く環境が目まぐるしく変化し、将来の予測が困難な状態を意味する「VUCA(※)」。この「VUCAの時代」には、すべての問題を解決してくれる唯一無二の答えは存在しません。「VUCAの時代」「答えのない時代」の中、私たち一人ひとりが、そして社会全体が成長するために、どう立ち向かうかが問われます。自らチャンスとリスクを判断し、主体的に変化し続ける姿が重要かもしれません。

学校においては、全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていくことが必要です。また、学校運営協議会をもとにコミュニティ・スクールとして、学校・家庭・地域が連携・協働し、相互にパートナーとして一体となって子どもたちの成長を支えていくことも必要です。

教員を取り巻く社会状況も急速に変化し、学校教育が抱える課題も複雑・多様化する現在。教員には、不断に最新の専門的知識や指導技術等を身に付けていく「学びの精神」が、これまで以上に強く求められます。そのことを自覚し、教員としての使命感や誇り、子どもに対する愛情や責任感など、教職に対する強い情熱を胸に、職員一同力を合わせて全力で取り組んでまいります。

「我々は、学ぶことをやめた時、教えることもやめなければならない。」

(サッカー元フランス代表監督 ロジェ・ルメール)

何事にも果敢に挑戦する子どもたちとともに、疾走する馬のごとく、力強く前進する一年にしたいと思います。保護者・地域の皆様、今年も本校の教育活動への御支援と御協力をよろしくお願いいたします。

(※)：世界経済フォーラム（ダボス会議）などの経済会議で使われた言葉。「Volatility（変動性）」「Uncertainty（不確実性）」「Complexity（複雑性）」「Ambiguity（曖昧性）」の4つの単語の頭文字から成る。